

こども

と しょ かん だ よ り



さいじょうしりつとうよとしょかん 10:00~18:00 ☎0898-65-4797 (だいひょう)

★コロナウイルスかんせんしょうたいさくのため、かいかんび・しかん、イベントのよていなどは、へんこうになることがあります。くわしくは、としょかんこうしきホームページをごらんください。

<https://lib.city.saijo.ehime.jp/index.html>

★こどもとしょかんだよりでは、あたらしいほん・きせつのてんじコーナーなど、ほんのじょうほうをちゅうしんにしようかいています。おはなしかいなど、イベントのよていは、としょかんカレンダーをみてください。



あたらしいほん



(ほんのじょうほう：TRCマークじょうほう)

『おかしなまちのおかしなはなし』
いわさき さとこ/作・絵 フレーベル館



あるところに、お菓子の町がありました。住人の和菓子と洋菓子たちは、顔を合わせればいつもけんかばかりしていました。そんなある日、白くて丸い、和菓子でも洋菓子でもない“だれか”が引越してきて…!?

えほん

『とんでやすんでかんがえて』
五味 太郎/作 偕成社



ことりさんはちょっと飛んで、ちょっと休み、木の実を食べたら、またちょっと飛んで、すこしずつ進んでいきます。でも、突然大きな海が! ことりさんは…。自分のタイミングは自分で決めていいと、子どもたちを応援する絵本。

えほん

『きみの人生はきみのもの』
谷口 真由美/著 NHK出版



親にも先生にも友だちにも話せない問題でこまったとき、声をあげてほしい。「心」「体」「お金」にかかわる悩みや問題を取り上げ、子どもの「権利」を紹介しながら解決への道を示す。相談先や専門機関も掲載。

社会

『晴さんのにぎりずし』
佐川 芳枝/作 佼成出版社



おすし屋さんの娘・久絵は、お母さんが事故で入院することになると同時に、ちょっとした誤解からクラスでいじめられるようになってしまう。そんなとき、お店を手伝うため、女性のすし職人・晴さんがやってきて…。

文学

てんじコーナー 『はるのおはなし』



春(はる)になると、さくらをはじめ、たくさんの花(はな)が咲(さ)きはじめます。そんなポカポカと暖(あたた)かい春をかんじる本(ほん)を集(あつ)めました。

